

## 7月2日（木曜日） 森林荒廃を防ぐために間伐

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木明、鈴木哲、中 計11名】



雨のため中断していたモリメイトフィールド奥の杉、檜林の間伐を行った。

間伐というのは、成長に伴って込み合ってきたが主伐（森林の樹木を収穫するために伐採すること）には至らない森林で、樹木の生育のために間引く伐採

である。間伐することで林床に太陽光線が届くようになり、下草が生育しやすい環境ができ、土壌の流失防止にも繋がる。森林の荒廃を防ぐことで自然環境を守る重要な作業である。

まず、伐採する木を数本選んだ。木が込み合っているためチルホールを使って木を倒したい方向に引っ張り伐採した。間伐した木で4mと5mの丸太棒を作り皮を剥いだ。公園内の小川の橋とビートルズベッドの木枠に有効活用する予定である。



木の頭頂部は、きれいに皮を剥ぎ、枝ぶりをそのまま生かして小物を掛ける道具を作ったり、クリスマスのインテリアに使うものを作ったりしながら楽しんだ。

## 7月16日（木曜日）

【参加者：池本、越智宏、越智美、梶川、上地、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】

## 午前：実が膨らんできたササユリに袋をかける



ササユリの種を取るためにいくつかのササユリに袋をかけた。



カワラナデシコが風にそよいでいた

# 午後：モリメイトフィールド周辺の草刈り・モリメイト会議



梅雨の晴れ間で太陽が顔を出す蒸し暑い1日であった。水分補給を心掛け、熱中症に十分注意しながら作業を行った。

草ぼうぼうになったモリメイトフィールド周辺に各自散らばり草を刈っていった。刈り払い機が刈りにくい



ところや刈り残したところは鋏や手鎌を使った。12名が気合を入れて整備したモリメイトフィールド周辺。通ってくる風も爽やかに感じられた。



虫が入り、幹の中ほどから折れていたコナラの木を除伐。

## 7月16日モリメイト会議議事録抜粋

- ・ 第6回くぬぎの森作り（令和2年11月8日実施予定）  
森林ボランティア活動支援事業の助成決定。実施に向けて、予定地の整備、備品の購入
- \* 植樹したクヌギの木が成長し、密になってきているので間伐や枝払いなどをしていく必要がある。
- \* クヌギの森を含めたモリメイトフィールド周辺の将来像（様々な動植物が住む、豊かな森を作り、豊かな生態系を取り戻す）を考え作業を進めていく。（くぬぎの森づくり、クヌギの木からシイタケの原木づくり、花菖蒲園の整備、道・小川の整備、杉・檜林の間伐など）

## 7月23日（木曜日）クヌギの森の整備・方位板の修理・モリメイト花壇に花苗の植えつけ

【参加者：越智宏、越智美、梶川、上地、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計11名】



クヌギの森が明るくなった

年月が経ち、モリメイトフィールドに設置されている方位板の文字が見えなくなっていた。発電機を持ち込み、研磨機で表面を削ったことで、はっきりと方位が分かるようになった。



クヌギの森でカブトムシ発見